

ミックスジュース

学級通信
鯉沢中3年生
2018年
12月19日
No. 31
あと少しで冬休み

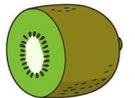


道徳「山寺のびわの実」



読み物について

妻を失い、7つになった娘のとめも失った甚太は、かたくなになり、寺の和尚をひどく嫌うようになります。心が広く、村人に慕われる和尚を、甚太は疎ましく思っているのです。そんな甚太があるきっかけで和尚の心を知り、自らを変えていくというお話です。性が合わない人間同士というのは、なかなか相手を受け入れられず、心を開くのが難しいのかもしれない。しかし、わかり合えれば、お互いに高め合うことのできる存在なのかもしれません。相手の立場や考えを尊重することで、多くのことが学べることを考えるきっかけづくりに適した読み物です。



相手の立場や考え方を尊重し、謙虚な心で学ぼうとするうえで大切なことは何か？

- ☪ 相手の行動を一度見ただけで判断しないで、陰でどんなことを考えているかしっかり見る。また、発言にどんな意味があるのか考えたり、訊いたりすることが大切。
- ☪ 相手の本当（リアル）な姿を知る。そのために、情報を得る力（情報取得能力）が必要。
- ☪ 甚太はおっさん（和尚）が大嫌いだった。しかし、甚太とおっさんはお互いにとめが好きだった。そこが二人の共通点であり、生き方を変えたところだと思う。似ている点が1つでもあれば、わかりあえると思う。
- ☪ 甚太はとめちゃんを失った悲しみをどこにぶつければ良いかわからなくて、和尚にぶつけてしまった。和尚は甚太を気遣っていた。人との交流を通して、話を訊くことが大切だと思った。
- ☪ 甚太の生き方を変えたのは、自分と同じ気持ちの仲間がいたこと。甚太はずっと自分だけが「悲しい奴」って思っていたけど、実は同じ仲間がいた。自己解決することもあるけど、他の人と協力して解決することも大切。
- ☪ 自分の勝手な想像で、相手を判断し、否定するのは良くない。だから、相手の中身を知り、立場や考え方をすることが大切。甚太は、最初の心境から変化して、おっさん（和尚）を見つめ直していたと思う。大切なことは、こういうことなのだと思う。

一つの立場を選んではいけぬ。一つの思想を選んではいけぬ。



選べば、君はその視座からしか、人生を眺められなくなる。（ジッド フランスの小説家）